

# 地域密着型金融への取組み状況

(取組み期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日)



## ✦ 地域密着型金融推進に対する基本的取組み

地域密着型金融とは、「金融機関とお客様との間で親密な関係を長く維持することによりお客様に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行なうことで展開するビジネスモデル」と位置づけられています。

当金庫では、平成15年4月以降、2次4年に亘る「金融再生プログラム」、「金融重点強化プログラム」を着実に遂行し、平成19年4月からは、地域密着型金融を恒久的な取組みと位置付け、地域の情報集積を活用した持続的な事業再生への取組み、地域活性化につながる貸出機能の強化及び、中小企業のライフサイクルに沿った事業支援を進めてまいりました。また、多様なサービスの提供、お客様の利便性の向上、地元社会へのお手伝いを通じて地域との共存共栄を目指してまいりました。

平成27年4月からの取組みにおいても、更なるきめ細かい対面営業の展開と地域の各方面との連携強化、会員の皆様との信頼関係の強化、内部体制の整備と金融機能の発揮を推進してまいりました。

今後も引き続き、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、更なる地域金融の円滑化、お客様への利便性・満足度の向上、信頼される健全経営の確保等に努めてまいります。

平成27年度の取組み状況を次の通り報告させていただきます。

# 平成27年度の取組み事項と実績

取組み分野	取組み項目	平成27年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成27年度の実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業への支援の更なる強化	(1) コンサルティング機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業・新規事業支援、経営改善、事業再生支援、事業継承等、取引先のライフステージを適切・慎重に見極めた上で、課題解決に向けた支援を行ないます。</li> <li>・ 取引先の経営課題解決に向けて、外部機関、専門家等と連携し、第三者的な視点や専門的な知見・機能を積極的に活用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度の新規事業の創業先に対する融資は、12件（12先）・284百万円、新規事業への進出先に対しては、4件（4先）・353百万円の実績でした。</li> <li>・ 経営改善支援取組み先218先に対して、原則、毎月1回訪問し、経営相談や経営指導を行ないました。また、月次損益や改善項目の進捗状況をヒアリングし、計画達成度合を検証することで、フォローアップに努めました。その結果、平成27年度は経営改善支援取組み先のうち債務者区分で22先、信用格付で39先がランクアップしました。</li> <li>・ 信金中央金庫と連携したスタンドバイ信用状の発行により、お取引先の海外での資金調達支援を行いました。</li> <li>・ 中小企業再生支援協議会へ相談案件として持込みしていた1先の計画が承認されたほか、外部専門家と連携して1先を持込みました。また、富山県中小企業診断協会及び認定支援機関税理士と連携し、経営改善支援センター事業により策定支援した9先の改善計画書に同意しました。</li> </ul>
	(2) 取引企業の技術・ノウハウの発掘と進化、活用策の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取引先相互支援のために、個別のマッチングを実施します。</li> <li>また、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2015」や全国各地のビジネスフェア等への参加を通じて、マッチングの機会を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸地方最大のビジネスフェアである「北陸ビジネス街道2015」が10月22日に開催され、北陸3県下の信用金庫のお取引先のみならず、隣接する近畿・東海・信越地区及び東北地区などの信用金庫のお取引先にも参加をいただきました。当金庫お取引先より30社の出展をいただき、114件の商談が行われました。</li> <li>・ 6月に埼玉懸信用金庫がさいたまスーパーアリーナで主催したビジネスフェアに3社、11月に城南信用金庫主催の商談会に5社のお取引先に出展いただきました。</li> <li>・ アマゾンジャパン(株)とのビジネスマッチング企画に応募いただいたお取引先6社の商品が販売商品として登録できたほか、信金中金北陸支店が西武福井店で開催した「信金さんに教えてもらった日本各地のおいしいものフェスタ」に2社のお取引先に出展いただきました。</li> </ul>
	(3) 将来の成長可能性を重視した事業の育成と地域の面的再生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新事業分野や成長産業分野（介護・福祉・福祉機器・次世代自動車等）への取組みを推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業推進部事業サポートグループが中心となり、医療・介護施設等の新規開予定者及び既存事業者に対し資金相談・事業計画作成相談、運営相談等を行い、22件で約14億円の融資を実行しました。</li> <li>・ 主な支援内容は、医院の開設1件、医療機器設備設置1件、介護施設の増設1件、ヘルパーステーションの開設1件、サービス付高齢者住宅の開設3件の他医療法人等への運転資金融資でした。</li> </ul>

取組み分野	取組み項目	平成27年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成27年度の実績
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底	(1)中小企業者の資金調達手法の多様化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型融資には、シンジケートローン等を活用し、新規取引先や既存取引先の資金調達に柔軟に対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度のシンジケートローン取扱は、4件985百万円となり、28年3月末で8件1,077百万円の残高となりました。</li> <li>・今後も積極的にシンジケートローンを活用し、大口資金需要に対応していきます。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産担保や保証に依存しない融資として、動産・債権譲渡担保融資、ABLや資本性借入金を活用し、新規融資の促進を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度は、動産・債権譲渡担保融資、ABL、資本性融資等の実績はありませんでした。</li> </ul>
	(2)地公体や商工団体、関係機関との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部経済産業局・新世紀産業機構・市・商工会議所・商工会等と連携し、補助金を含む各種支援事業を取引先に提案し活用を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の経営課題解決を支援するため「たかしん中小企業支援プラットフォーム」から、中小企業庁「中小企業、小規模事業者ビジネス創造等支援事業」を活用した専門家派遣を4先に対し、9回実施しました。</li> <li>・平成26年補正予算による「ものづくり補助金」について30件の申請を支援しました。</li> <li>・平成27年度補正予算による「ものづくり補助金」の申請を支援するため、平成28年1月に中部経済産業局及び富山県中小企業診断協会から講師を招き、申請予定者向けのセミナーを開催したほか、1月から3月にかけて中小企業診断士2名による個別相談会を3回開催しました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係機関と継続的に意見交換を実施し、国や地公体等の各種補助金や支援策等の理解を深めるとともに、取引先への周知・活用を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業基盤整備機構、高岡市、高岡商工会議所、高岡市商工会と当金庫の5機関に富山県よろず支援拠点を加えたメンバーによる会合を3回開催し、各種補助金を含む情報交換会を実施しました。</li> </ul>
	(3)取引先の問題解決に向けた外部機関の活用と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地公体・商工会議所・商工会・中小企業再生支援協議会等の外部機関や税理士、弁護士、公認会計士、中小企業診断士等の専門家と連携して、経営改善や企業再生等に取組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営コンサルティング会社と連携し、契約先2社に対して生産技術面でのノウハウ提供と経営改善支援に取組んでいます。</li> <li>・富山県中小企業診断協会との連携により無料経営相談会を開催しました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管部と営業店は外部機関や専門家が実施する取組みに参加し、ノウハウを取得します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たかしん中小企業支援プラットフォーム」から、中小企業庁「中小企業、小規模事業者ビジネス創造等支援事業」を活用して実施する専門家派遣に金庫職員が同席し、ノウハウの習得に努めました。</li> </ul>

取組み分野	取組み項目	平成27年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成27年度の実績
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1)多重債務者問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>多重債務者向けの相談窓口を継続し、住宅ローンの返済条件変更や多重債務に関する相談などに対応していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融円滑化窓口を設置し、住宅ローンの返済条件変更や多重債務に関する相談に対応しました。</li> <li>平成27年度は、住宅ローンについて相談を受けた6件全てで期限延長や返済額軽減等の対応を行いました。</li> </ul>
	(2)目利き能力と融資対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の将来性、技術力を的確に評価できる目利き能力や経営改善へのコンサルティング能力の向上など、事業再生・中小零細企業金融の円滑化に対応できる人材の育成に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全信協の「目利き力養成講座」、地区協の「目利き力強化・養成講座」や「融資渉外講座」等に延べ11名の職員を派遣しました。また、女性職員の融資能力向上を目指し、地区協「女性融資業務基礎講座」に計4名の女性職員を派遣しました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士等国家資格の取得を支援するとともに、資格保有者をノウハウの活用できる部署へ積極的に登用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士の一次試験合格者2名を中小企業大学校へ派遣し、資格要件完備のサポートを行いました。資格取得者の2名については、営業店にノウハウを伝授するため、融資部企業支援課と人事部に配属しました。</li> </ul>
4. その他	(1)法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力と対決し、被害を防止するため、取引を含めた一切の関係を遮断し、不当要求には断固拒絶します。また、警察や外部専門機関との十分な連携により対応を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>反社会的勢力の範囲を拡大・明確化するとともに、反社との取引解約については、常勤役員会で金庫の解約意思を決定後、警察より正式回答を得て、顧問弁護士と綿密な打合せのもと、取引解約交渉を行う体制を整備しました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「改正犯罪収益移転防止法」及び「組織犯罪処罰法」に則り、庫内関連規則である「マネーロンダリング防止対策事務取扱要領」等に従って、取引時確認、疑わしい取引の届出等を適切に行ないます。また、振り込め詐欺の発生を防止するとともに、「振り込め詐欺救済法」に基づき、被害回復分配金の支払手続を遅延なく行ないます。また、「外国口座税務コンプライアンス法」に則り、「外国口座税務コンプライアンス法FATCA遵守規程」等に従って手続きを適切に行ないます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業店では、毎営業日「不正・風評等取引監視日報」を検証し、疑わしい取引と感知した場合、速やかにコンプライアンス部（以下、「統括部署」という。）へ報告し、統括部署は「マネー・ロンダリング防止対策事務取扱要領」に従い、金融庁への届出等を行っています。</li> <li>犯罪利用口座等の利用があると認めたときは、「振り込め詐欺救済法」に則り、預金等債権の消滅手続きや被害回復分配金の支払手続きを速やかに行っています。</li> <li>「外国口座税務コンプライアンス法」に則り、「外国口座税務コンプライアンス法FATCA遵守規程」等に従って、手続きを適切に行っています。</li> </ul>

取組み分野	取組み項目	平成27年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成27年度の実績
4. その他	(1) 法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業店への臨店指導を強化し、法令等遵守に関する指示の徹底とその実施状況について事後の検証を行ないます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンプライアンス部は全営業店に対する臨店勉強会及び年3回のコンプライアンス・アシスタントを対象とした研修会を開催し、法令等遵守に関連した指導を行ないました。また、事務処理態勢の監査等を通じて事後検証を行ない、再発防止等についての指導も行ないました。</li> </ul>
	(2) 店舗の構造強化と安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A E D の設置 (3カ店) ・ 耐震構造の調査 (2カ店) トイレ改修工事 (5カ店) など行ないます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度は3カ店舗にA E D (自動体外式除細動器) を設置しました。また、配置店舗の職員を対象に心肺蘇生法やA E Dの使用方法等の救命講習を行ないました。</li> <li>・ 平成27年度は2カ店舗の耐震構造の調査及び5カ店のトイレ改修工事を行ないました。</li> </ul>
	(3) 地域のお客様との関係強化と、意見・要望を業務に反映させる体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の営業店担当制を深化させ、会員・親睦会との関係を強化することで、お客様より率直な意見・要望をくみ取る体制を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専務理事以下の7名の理事で全26カ店を分担し、支店長との同行による取引先訪問を月1回以上行ないました。</li> <li>・ 訪問を通じ、地域や事業者の情報や要望を収集し、定期的に理事会への報告を行ない、全役員による情報の共有化とお客様からの要望に対して、素早い対応ができるよう努めました。</li> </ul>

# ✦ 具体的取組み事例

## 1. ライフサイクルに応じた取引先企業への支援の更なる強化に対する取組み

### ○しんきんビジネスフェア



平成27年10月に、石川県産業展示館において北陸地区信用金庫協会主催のしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2015」が開催されました。当金庫でも地域経済の活性化と、地元企業の事業発展を目的とし、当金庫取引先30社の出展をいただきました。ビジネスマッチングも同時に実施し、114件の商談がありました。

平成27年6月に埼玉懸信用金庫主催の商談会に当庫取引先3社、11月に城南信用金庫主催の商談会に5社の出展をいただきました。

### ○たかしん中小企業支援プラットフォームによる専門家派遣

たかしん中小企業支援プラットフォームから無料で専門家を派遣し、お取引先の課題解決のお手伝いをしています。平成27年度は、4先に対し9回専門家を派遣し、自社ホームページの制作や、販促ポスター・チラシ作製等を支援しました。

### ○「中小企業再生支援協議会との事前相談会」の開催

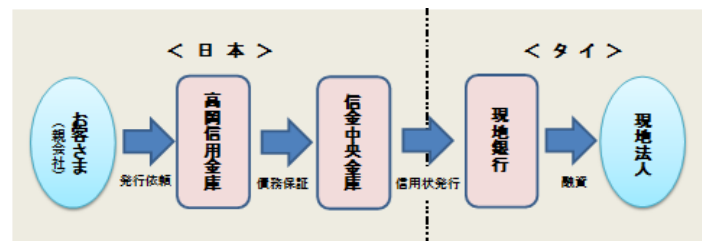
お取引先の経営課題解決に向けて、外部機関と連携し、第三者的な視点や専門的な知見・機能を積極的に活用し、お取引先をバックアップするため、平成27年7月に中小企業再生支援協議会との事前相談会を開催しました。



## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底に対する取組み

### ○当金庫取引先企業の海外現地法人の資金調達をサポート

当金庫お取引先のタイ現地法人が、現地銀行からタイバーツ建ての借入を行うにあたり、当金庫より信金中央金庫を介して信用状を発行することで、同社タイ現地法人の資金調達を支援しました。



### ○「ものづくり補助金」セミナーの開催

平成27年度補正予算による「ものづくり補助金」の申請を支援するため、平成28年1月に中部経済産業局及び 富山県中小企業診断協会から講師を招き、申請予定者向けのセミナーを開催したほか、1月から3月にかけて中小企業診断士2名による個別相談会を3回開催しました。

### ○「たかしん無料経営相談会」の開催等

平成27年11月、富山県中小企業診断協会と連携し、無料経営相談会を開催しました。

また、経営コンサルティング会社と連携し、生産技術面でのノウハウ提供や経営改善支援に積極的に取組み、お取引先の問題解決に向けて、外部人材も活用しています。



### ○「たかしん地域活性化資金」

成長期にある優良取引先を低利資金で支援するために創設しました「たかしん地域活性化資金」を継続して取扱いしています。本資金を活用することで地域経済の活性化と地元企業の事業発展に貢献するため、積極的に営業活動を展開しています。

### ○「土曜セミナー」・「融資審査トレーニー研修」を実施

職員の目利き能力、コンサルティング能力向上を目的として職員向けの勉強会「土曜セミナー」を開催し、中小企業診断士資格取得に向けた講座などを開催しました。

「融資審査トレーニー研修」として若手職員に融資審査の基本(資金使途・返済財源等)を体得させるため、平成27年4月と11月に実際に稟議の場へ参加させて、融資部が直接指導を行ないました。



### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献に対する取組み

#### ○「おもしろ年金セミナー」及び「年金個別相談会」を開催

平成27年9月に、社会保険労務士の原令子氏を講師にお迎えして「たかしんおもしろ年金セミナー」を開催しました。

当日は年金受給予定者89名の方に、年金の仕組みや手続きについて楽しく学びました。



### 4. その他



#### ○本部棟、別館を新築オープン

平成28年3月、本部棟と別館が新築オープンしました。

別館は2階建てで、重要伝統的建造物群保存地区に位置し、土蔵造りの町家が並ぶ山町筋に適した瓦葺屋根や、さまのこ(千本格子)を整備しました。

本部棟は5階建てで、景観に溶け込むような外観に仕上げました。

#### ○「たかしん経済講演会」を開催

平成27年10月に、当庫のお客様341名にお集まり頂き「たかしん講演会」を開催しました。外交ジャーナリストで作家・元NHKワシントン支局長の手嶋龍一氏を講師に招き「アジア半球の時代をどう生き抜くか ～新日本海時代と地方創生～」と題してご講演頂きました。



# 「地域密着型金融推進」に係る取組み実績

## 1. 主要計数の実績

### ① ライフサイクルに応じた支援強化の取組み実績

主要計数項目	平成28年3月末日目標	平成28年3月末実績
経営改善支援取組み率(※1)	40.0%	40.3%
経営改善支援取組み先の再生計画策定率(※2)	100.0%	74.5%
経営改善支援取組み先のランクアップ率(※3)	4.0%	9.5%
創業・新事業支援融資実績(件数・金額)	20件・500百万円	16件・637百万円

(※1)経営改善支援取組み率(40.3%)

＝経営改善支援取組み先数(230先<sup>※4</sup>)÷正常先除く期初債務者数(571先)

(※2)経営改善支援取組み先の再生計画策定率(74.5%)

＝再生計画策定先数(172先)÷経営改善支援取組み先数(231先)

(※3)経営改善支援取組み先のランクアップ率(9.5%)

＝支援先の債務者区分ランクアップ先数(22先)÷経営改善支援取組み先数(230先<sup>※4</sup>)

(※4)期初正常先で新規経営改善取組み先となった先を除いた先数)

### ② 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績(中小企業に適した資金供給手法の徹底)

主要計数項目	平成28年3月末日目標	平成28年3月末実績
動産・債権譲渡担保融資実績(件数・金額)	2件・20百万円	0件・0百万円
財務制限条項活用融資実績(件数・金額)	2件・200百万円	3件・485百万円

## 2. その他の数値目標の実績

「地域密着型金融推進計画」の期間中に主要計数の取組みのほか、達成すべき業績水準として、以下の目標を設定し努力してまいりました。

項目	平成28年3月末目標	平成28年3月末実績
経営改善支援取組み先数	200先	172先
経営改善支援先の債務者区分ランクアップ先数	10先	22先
経営改善支援先の信用格付ランクアップ先数	30先	39先
コンサルティング提携企業先数	5先	2先
新規開業支援企業先数	10先	12先
新規分野進出支援企業先数	10先	4先
私募債取扱企業先数	1先	0先
シンジケートローン取扱企業先数	2先	4先